



海洋プラスチック ごみ問題に取り組もう

身近な製品の落とし穴

私たちの身近にあるプラスチックがごみとなって海の環境を汚し、そこに住むさまざまな生き物に影響を与えています。プラスチックごみの問題は、どこか遠くで起きているものではなく、私たちの生活とつながっています。私たち一人ひとりの行動が必要だということ調べてみました。

私たちが普段使っているレジ袋やペットボトル、ストローなどのプラスチック製品は、ポイ捨てされたりして海に流され、海洋プラスチックごみになります。

プラスチックは自然界では分解されません。半永久的に海にたまたま

ことで、プラスチックに付着する有害物質やプラスチックそのものの有害性で、海はどんどん汚れていきます。また、海洋生物がプラスチック製品をえさと間違えて食べてしまい、それが体の中で消化されずに内部を傷つけて死んでしま



買い物でエコバックを使います

編集者

作者名 福島 桃
よみがな ふくしま もも
学校・学年 福島小学校五年
市町村名 福島市



砂浜に散らばるプラスチック

うことでもあります。小さな粒子のマイクロプラスチックは海洋生物の体内に蓄積されていきます。その貝や魚を口にすると私たちが人間の体内にもマイクロプラスチックが入り込み、悪い影響を与える可能性があるのです。

しかし、プラスチックの処理には課題があります。リサイクルされているのは12%ほど。プラスチックを燃やして発生する熱を再利用する熱回収では、温室効果ガス

である二酸化炭素を発生させ、地球温暖化を加速させます。有効利用されないごみは埋め立て

解決策は 行動から

プラスチックごみを減らすためには私たちが積極的に取り組むことが必要です。

プラスチックごみを減らすための行動をする

- 1 レジ袋をもらわなくていいようにエコバックを持参する
- 2 タンブラーなどマイボトルを持参し、プラスチック容器の使用を減らす
- 3 プラスチック製のスプーンやフォークをもらわず、マイはしやマイスプーンなどを常備する
- 4 プラスチック製ストローの使用を控える など

まず、
まずはできることから始めてはいかがでしょうか。

編集後記

海が大好きなので、海のごみ問題に取り組ましました。普段から近所のごみを拾い、エコバックを使っています。これから取り組みを続けて、海の中の生物が安全に暮らせるようになると思います。

していますが、すでに処理能力を超えてしまっているのが現状です。